

協力することを学んだ宿泊研修



学校 レポーターズ コラム

「宿泊研修で学んだ3つのこと」

川根高等学校 1年
守谷康平

僕たち川根高校1年生74人は、焼津青少年の家で4月15日から17日の3日間、宿泊研修を実施しました。

僕はこの研修で、学んだことが主に3つあります。

1 協力する大切さ

みんなと協力することの大切さを学びました。これは主に、2日目の海洋活動と集団行動訓練で学んだことです。

中学の時にも宿泊研修はありましたが、その時はそれほど苦労しませんでした。周りの友達が小学校から一緒に顔見知りだったからです。しかし高校での宿泊研修は、入学したてで顔も名前も性格も分からない人たちばかり。初対面の相手と3日間過ごすことに、とても戸惑いを覚えました。

それでもこの機会を生かして、多くの人たちと話をし、協力することができたと思っています。

2 ルール・マナーを守る

ルールやマナーを守ることの大切さを学びました。僕は今まで他人のことを考えず、自分の

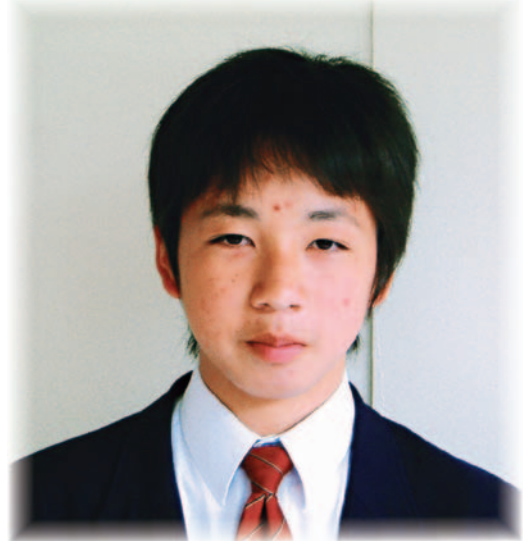
ことしか考えていませんでした。しかし、他の人たちと生活するためには、さまざまなルールやマナーを守ることが大事だと知りました。これからは、他の人のことを第一に考えられる人になりたいと思います。

また同時に、公共施設の決まりを守るということも学びました。

このことは、今後の生活を正しく楽しく送るためにも大切なことです。これからもルール・マナーを守って生活していきたいです。

3 進んであいさつする
あいさつすることの大切さを学びました。僕は今まで、自分から進んであいさつすることが少なかったと思います。しかしこの3日間の生活で、青少年の家の人、先生、ほかの宿泊客の人たちに進んであいさつをすることができました。

この調子で普段の生活でも自分から進んであいさつをしてい



きたいと思いました。

川根高校は、あいさつが素晴らしいのが自慢です。自分もその一員として、川根高校の自慢を守っていききたいと思っています。

最初は、「入学したばかりで宿泊研修なんて」と思っていました。しかし、みんなが積極的にほかの人たちと話をし、仲良くなることのできたので、「こういう研修もいいな」と思えるようになりました。

これからもこの研修で学んだことを忘れずに、みんなと学校生活を送りたいと思います。